

事業報告書

(第 28 期)

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

笠間工芸の丘株式会社

第 28 期事業報告

(令和 6 年 4 月 1 日より令和 7 年 3 月 31 日まで)

平成 10 年の創設以来、皆様方の温かいご支援をいただきながら第 28 期の決算年度を終了出来ましたことを、心から御礼申し上げます。

当会計年度における日本経済は、一時的な停滞感があつたものの回復基調を維持し、日経平均株価は高値で推移し、地価上昇率や賃上げ率はバブル期以来の伸びを記録するなど、幅広い分野でデフレ環境からの脱却に向けて明確な前進が見られた年度となりました。

しかしながら、円安や人手不足、物価高騰による個人消費の懸念が続き、令和 6 年分の毎月勤労統計調査では、物価を考慮した働き手 1 人あたりの「実質賃金」は、賃上げが物価の伸びに追いつかず、3 年連続のマイナスとなりました。このことから、実際の生活における環境は厳しさが続いており、販売する側にとってもコストが膨らむ中経営努力だけでは難しいとも感じております。

当社の今年度の入館者数は、129,000 人となり、昨年度 125,100 人から若干の増加となりました。大規模改修に伴い、電気設備による 5 日間の臨時休館がありましたが、営業日数は 301 日を確保いたしました。

この改修期間においても、工夫をしながら営業を継続し、事前に予定していた「クラフトギャザリング」「陶と暮らし。」「彩初窯市」など屋外のイベントなども通常通り実施することで、来場客数を確保しつつ収益確保に努めました。

中でも 4 月 29 日に新設された「クラフトカフェ」が年間を通して好評をいただきました。笠間芸術の森公園を見渡せ、茨城県内でとれた旬の食材と笠間焼とのコラボをテーマに地産地消に取り組み、県内、笠間市の特産を活かしたこだわりの料理を笠間焼のうつわで提供したことが好評の理由にあげられます。

6 月には 2F フロアに「能島征二彫刻ギャラリー」が新設となり、同時期に開催された茨城県陶芸美術館の企画展「魯山人クロッシング」への来場者数も多いことから、当社の入館者数の増加にも繋がりました。また、茨城県陶芸大学校とのコラボ企画「うつわとモンブラン」を開催するなど、周囲と連携を強化してまいりました。

9 月にホームページを全面リニューアルし、これまで以上に屋外イベントや企画展の情報発信、予約案内、カフェメニューなど、より多くの方に興味をもっていただけるような情報提供を今後も実施してまいります。また、SNS を活用し、例えばインスタグラムのフォロワー数は 8,300 人規模（昨年度比 1800 人増）となっており、さらに認知度の向上を図るべく戦略要素として位置付けてまいります。

第 28 期の売上高合計では 204,244 千円となり、前年度の実績に対し 14,514 千円（前年度比 6.6%）減少となりました。今期の売上減少は、令和 5 年 11 月よりエリアごとに改修を実施してまいりましたが、施設の本館であるセンタープラザの改修によるものです。

物販部門全体の売上は 125,784 千円となり、19,888 千円（前年度比 13.7%）の減少となります。6 月よりクラフトアートスペース（旧作家展示室）の改修、12 月よりセンタープラザメインフロアの改修となり、売場面積の縮小、企画展の中止が主な要因となります。

また、工房部門の売上は 37,680 千円となり、4,154 千円（前年度比 12.4%）の増加となりました。こちらは、改修工事がすでに終了し、期初 4 月より安定した運営がなされたことやコロナ過における規制が無くなったこともあり、利用者数も増えたことが考えられます。

手数料収入では、笠間芸術の森公園の管理手数料並びに工芸の丘指定管理料（芝生・樹木管理）に加え自動販売機手数料を含めると 39,433 千円となり、1,429 千円（前年度比 3.8%）の増加となりました。

売上原価は、63,944 千円となり、改修工事期間のため商品仕入れが大幅に減ることとなり昨年に比べ売上原価が 17,575 千円減少することとなりました。

全体の原価率は 31.3%と昨年の原価率は 37.2%から大幅に下げることができました。要因として新設されたクラフトカフェと工房の売上高の向上が収益に繋がったものと考えます。

従いまして、売上粗利益は 140,299 千円となり、前年比で 3,060 千円(2.2%)の増収となります。次に、販管費及び一般管理費は、165,640 千円となり、前年比 16,785 千円(11.3%)の増加となりました。増加の要因は、クラフトカフェの新設に伴う食器や備品などの消耗品費、厨房機材等の減価償却費となります。改修における新規投資総額は、およそ 20,000 千円規模になります。

(主な投資内容参考／クラフトカフェ厨房機器：9,955,000 円、POS 会計システム：2,465,980 円、椅子テーブル：2,750,000 円、消耗備品類：1,909,000 円、物販什器：3,081,500 円など)

また、物価上昇による従業員の生活を守るため定期昇給やベースアップ、賞与支給も増加要因に繋がり、人材を保持する上でも必要なコスト増となっております。その他、体験発送手数料などの 3,998 千円を営業外収益として計上させていただきました。

これらの状況から、経常損失は 21,590 千円となり法人税等充当額 185 千円を充当した結果、当期純損失は 21,775 千円の赤字となります。

引き続き笠間市の観光振興と地場産業の発展に貢献し、さらに企業価値の向上を目指し従業員一同、一層の努力を傾注してまいり所存でございます。

引き続きご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。